

2026 年 1 月 24 日 実施

東北医科薬科大学

一般 英語



## 【出題分析】

今年度の東北医科薬科大学の英語は、大問の構成（大問 4 題）や分量ともほぼ例年通りであり、大きな変化はありませんでした。

大問 1：長文で、英問英答でした。出典：「風疹が免疫記憶を消す」 (*ScienceNewsExplore*)

大問 2：長文で、英問英答でした。出典：「AI（人工知能）により、真実とフィクションを区別することが困難になってきている」 (*ScienceNewsExplore*)

大問 3：下線部の文法・語法・文脈上のミスを特定する問題でした。

動詞の形や、動詞の数の一致、名詞の数の一致などに注意して解答していきたい。

大問 4：日本語を与えた上での語句整序でした。基礎レベルの問題だから満点を狙いたい。

東北医科薬科大の英語は、例年通り、大問Ⅰ、大問Ⅱ、大問Ⅳで高得点を目指した上で、大問Ⅲに注意深く取り組むという例年通りの戦略で、70%以上の得点を目指したいところですね。

## 【解答】

### 【Ⅰ】

問1 [1] ④ 問2 [2] ② 問3 [3] ④ 問4 [4] ① 問5 [5] ③ 問6 [6] ①  
問7 [7] ③ 問8 [8] ④ 問9 [9] ③ 問10 [10] ① 問11 [11] ④ 問12 [12] ②  
問13 [13] ③ 問14 [14] ④ 問15 [15] ③

## 【Ⅱ】

- 問 1 [16] ② 問 2 [17] ④ 問 3 [18] ① 問 4 [19] ③ 問 5 [20] ② 問 6 [21]  
④  
問 7 [22] ③ 問 8 [23] ① 問 9 [24] ① 問 10 [25] ③ 問 11 [26] ② 問 12 [27]  
③  
問 13 [28] ② 問 14 [29] ③ 問 15 [30] ②

## 【Ⅲ】

- 問 1 [31] ③ 問 2 [32] ① 問 3 [33] ④ 問 4 [34] ② 問 5 [35] ④ 問 6 [36] ②  
問 7 [37] ① 問 8 [38] ③ 問 9 [39] ③ 問 10 [40] ③

## 【Ⅳ】

- 問 1 [41] ⑤ [42] ③ 問 2 [43] ⑦ [44] ③ 問 3 [45] ⑦ [46] ②  
問 4 [47] ④ [48] ⑥ 問 5 [49] ⑥ [50] ①

コメント

## 【4】

問 1 ハンチントン病は、たった一つの遺伝子の異常な型によって引き起こされる神経変性の遺伝性疾患である。

Huntington's disease is a neurodegenerative genetic ②disorder ⑦caused [5]by ⑥a  
④faulty version [3]of ⑥a single ①gene.

問 2 したがって、その疾患を持つ親がいる人は誰でも 50 パーセントの確率で遺伝する。

So anyone who has a ①parent ⑩with [7]the disorder ⑨has ⑧a [3]50 ①percent ⑥  
chance ②of  
④inheriting it.

問3 2017 年, ある女性が, 以前に彼女の父親を検査してその病気の陽性反応を確認しながらも彼女に知らせなかった医師たちを訴える権利を勝ち取った。

In 2017, a woman won the right to sue the doctors who had earlier ⑤tested ①her

⑦father

⑧and ⑥found ②him ④positive ③for the disease but had not informed her.

問4 彼らは何もしなかったのは, 検査結果を秘密にして欲しいという父親の主張に起因していた。

Their inaction arose ③from ⑧the father's ④insistence ①that ⑤the ⑥test ⑦result ②be kept confidential.

問5 あなたなら, どのような問を投げかけるか。「知ること」に伴うあらゆる責任について, 私たちはどのような結論を導き出せるだろうか。

What kind of questions might you ask?

What ⑤can ⑧we ⑥conclude ④about ②any ①responsibilities ③that ⑦accompany 'knowing'?